

地球環境学科・地震テクニクス研究室が製作した防災紙芝居塗り絵「稲むらの火」が、福岡市で開催された社会福祉協議会のイベントに使用され、その様子が「読売新聞かわらばん（福岡東部版・福岡南部版）に掲載されました。

配布地域＝博多区 南区 春日市 大野城市 筑紫野市 太宰府市 小郡市 朝倉市 那珂川町 筑前町 東峰村

(南)

読売新聞 かわらばん

福岡南部

発行所 読売新聞西部分社 〒810-8581 福岡市中央区赤坂1-16-5
電話番号(092)715-4311(代) www.yomiuri.co.jp

2010年(平成22年)11月27日土曜日 第210号

ごみ分別、地域清掃 率先

地球環境守ろう 中高生サミット

朝倉・浮羽の8校

朝倉市堤のオイスカ甘木朝倉支局(中島茂嗣会長)は10月16日、同市甘木のニュー松屋で「2010 オイスカ・ティーンあさくら」母なる地球の子ども環境サミットを開催した。子どもたちに地球環境と自分たちの日常生活を見つめ直してもらい、グローバルな視野を身につけてもらうのが狙いで、地域の豊かな自然を守るために考え、活動していくことを宣言した「子ども環境宣言2010」も採択した。



意見交換の場で活動内容を発表する十文字中学校の生徒

こども環境宣言を採択

サミットには市東、朝倉光陽の両中、甘木中、秋月字中の4校、うき羽真真館高、浮羽代表、学校関係者スカ・マレーシアト・ソフィアン副倉市長、オイスカ生など約120人。各校がごみの分別や地域の清掃活動を行っていることを使っていることを実践していることを用いて説明。朝倉東高、浮羽研究ペットボトルのキ集め、ポリオワクする活動の取り組み。各校の意見

コップ10

オイスカ甘木朝倉支局開催

イスカ・デイ in あさくら～母なる地球の子ども環境サミット～

2010年(平成22年)11月27日(土曜日)

言論 空 赤斤

お年寄り 防災紙芝居塗り絵

福岡市南区の筑紫丘校区社会福祉協議会が1日、筑紫丘公民館に70歳以上の66人を招いて、開いた秋のふれあい昼食会で、防災紙芝居を上演しているボランティアグループ、河上一座が「津波だ！稲むらの火を消すな」を題材にした「紙芝居塗り絵」を指導した。お年寄りたちはクレヨンを使って、作品を仕上げた。塗り絵は、弘前大理工学部地球環境学科地震テクニクス研究室が大学祭用につくった原画14枚を了解を得て使用。A4判を1人に1枚ずつ配布し、参加者に自由に色付けをしてもらった。お年寄りたちは、津波が迫った恐怖の顔に黄色に塗ったり、着物をピンク色にしたり、

筑紫丘公民館、66人招き



クレヨン使いも巧みに、鮮やかな色使いを見せるお年寄りたち(福岡市南区、筑紫丘公民館で)＝三岡繁樹さん撮影

「津波だ！稲むらの火を消すな」題材

個性豊かな作品を10分余りで仕上げた。参加した浦水静子さん(87)は「楽しい会だった。稲むらの火の話は知っていた。私のふるさととは北海道浦河町で、小学生のころ『津波が来る』というので、高台にみんな逃げた」と記憶をよみがえらせた。企画した大塚繁治さん(66)は「固定観念を打ち破る大胆な色彩感に驚いた。今後はお年寄り自身の作品で、みなさんに紙芝居を上演してもらおうこともできそう」と期待をかけた。弘前大の佐藤謙夫教授からは「このような形で利用していただけることは大変うれしい」とメッセージがメールで寄せられた。

※この当該ページは読売新聞の許可を得て掲載しております

紙芝居：稲むらの火ホームページ <http://www.st.hirosaki-u.ac.jp/~tamao/Images/Kamishibai/Ina1.html>

[問合せ先] 弘前大学理工学部地球環境学科地震テクニクス研究室 tamao@cc.hirosaki-u.ac.jp